



Cisco Unified MeetingPlace Express システムのアクセス問題に関する トラブルシューティング

この章には、次のトピックがあります。

- [root ユーザ アカウントのパスワードの復元 \(P.1-2\)](#)
- [mpxadmin アカウントのパスワードの復元 \(P.1-4\)](#)
- [エンドユーザ インターフェイスおよび管理コンソールで使用するシステム管理者パスワードの復元 \(P.1-5\)](#)
- [誤った SSL 証明書またはキーをアップロードした後のシステムへのアクセス \(P.1-6\)](#)
- [LDAP ログオンの試行に失敗する場合のトラブルシューティング \(P.1-8\)](#)

この章を確認した後も Cisco Unified MeetingPlace Express に関する問題が解決しない場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。Cisco TAC へのお問い合わせについては、[P.xiii](#) の「[テクニカル サポート](#)」を参照してください。

root ユーザ アカウントのパスワードの復元

Cisco Unified MeetingPlace Express システムのインストール中に root ユーザ アカウント用に作成したパスワードを忘れた場合は、次の手順でパスワードをリセットします。

手順

ステップ 1 サーバをリブートします。

ステップ 2 リブート時に 3 秒だけ、root のパスワードをリセットするためにサーバ設定のアップデートを選択できる時間があります。画面の最上部に GRUB という語が表示され、Cisco Unified Communications と入力されたテキストボックスが表示されたら、すぐに Space キーを押します。



注意 この画面が表示されてから Space キーを押すまでの時間は、3 秒だけです。



(注) この画面のどこにも、Space キーを押して root パスワードをリセットすることに関する表示はされていません。

ステップ 3 3 つのオプションが表示されます。上または下の矢印キーを押して、3 番目のエントリを選択します。「kernel」で始まるエントリです。

ステップ 4 e を押してエントリを編集します。

ステップ 5 エントリの最後にスペースを 1 つ入力してから **single** と入力します。



(注) **single** と入力する前に、必ず 1 つ空白を入れる必要があります。

ステップ 6 Enter キーを押して、前の画面に戻ります。3 番目のエントリの最後に、single という語が表示されます。

ステップ 7 b を押してサーバのリブートを続行します。

ステップ 8 プロンプトで **/root/.security/unimmunize.sh** と入力します。

ステップ 9 プロンプトで **passwd root** と入力します。これで、root というユーザ用の新しいパスワード設定が指示されます。

ステップ 10 [New password] プロンプトで、新しいパスワードを入力します。セキュリティ上の理由から、パスワードは一連のアスタリスクで表示されます。



(注) パスワードが不適切であることを示すメッセージが表示される場合があります。このメッセージは無視してください。

ステップ 11 [Retype new password] プロンプトで、同じパスワードを再入力します。

ステップ 12 プロンプトで、`/root/.security/immunize.sh` と入力します。

ステップ 13 プロンプトで `reboot` と入力します。サーバがリブートされます。

Cisco Unified MeetingPlace Express のオペレーティング システムのログイン ページが表示されます。

ステップ 14 [username] プロンプトで、`root` と入力します。

ステップ 15 [password] プロンプトで、[ステップ 9](#) で作成した新しいパスワードを入力します。

Cisco Unified MeetingPlace Express のオペレーティング システムのデスクトップが表示されます。

mpadmin アカウントのパスワードの復元



(注)

この場合も、同じ手順を実行して mpadmin アカウントのパスワードを変更します。

Cisco Unified MeetingPlace Express システムのインストール中に mpadmin ユーザアカウント用に作成したパスワードを忘れた場合は、次の手順でパスワードをリセットします。

手順

ステップ 1 root ユーザとして Cisco Unified MeetingPlace Express のオペレーティング システムにログインします。

ステップ 2 [password] プロンプトで、root のパスワードを入力します (root のパスワードを忘れた場合は、まず P.1-2 の「root ユーザアカウントのパスワードの復元」の手順を実行してください)。

Cisco Unified MeetingPlace Express のオペレーティング システムのデスクトップが表示されます。

ステップ 3 デスクトップを右クリックします。

ステップ 4 メニューから、[New Terminal] を選択します。端末セッションが始動します。

ステップ 5 プロンプトで、/root/.security/unimmunize.sh と入力します。

ステップ 6 プロンプトで、passwd mpadmin と入力します。これで、mpadmin というユーザ用の新しいパスワード設定が指示されます。

ステップ 7 [New password] プロンプトで、新しいパスワードを入力します。セキュリティ上の理由から、パスワードは一連のアスタリスクで表示されます。



(注)

パスワードが不適切であることを示すメッセージが表示される場合があります。このメッセージは無視してください。

ステップ 8 [Retype new password] プロンプトで、同じパスワードを再入力します。

ステップ 9 プロンプトで、/root/.security/immunize.sh と入力します。

ステップ 10 デスクトップで、[RedHat] > [Network Services] をクリックします。

ステップ 11 [Log out] をクリックします。

エンドユーザ インターフェイスおよび管理コンソールで使用されるシステム管理者パスワードの復元

システム管理者アカウント用に作成したパスワードを忘れた場合は、次の手順でパスワードをリセットします。このパスワードは、エンドユーザ インターフェイスおよび管理センターで使用されます。

手順

ステップ 1 **mpxadmin** ユーザとして Cisco Unified MeetingPlace Express のオペレーティング システムにログインします。

ステップ 2 [password] プロンプトで、**mpxadmin** のパスワードを入力します（**mpxadmin** のパスワードを忘れた場合は、まず P.1-4 の「**mpxadmin アカウントのパスワードの復元**」の手順を実行してください）。

Cisco Unified MeetingPlace Express のオペレーティング システムのデスクトップが表示されます。

ステップ 3 デスクトップを右クリックします。

ステップ 4 メニューから、**[New Terminal]** を選択します。端末セッションが始動します。

ステップ 5 プロンプトで、**userutil -p admin <newpassword>** と入力します。**newpassword** は新しいパスワードです。これで、エンドユーザ インターフェイスおよび管理センターの **admin** というユーザのパスワード設定が指示されます。

ステップ 6 デスクトップで、**[RedHat] > [Network Services]** をクリックします。

ステップ 7 **[Log out]** をクリックします。

誤った SSL 証明書またはキーをアップロードした後のシステムへのアクセス

Cisco Unified MeetingPlace Express アプリケーションで Secure Socket Layer (SSL) を使用するには、SSL 証明書をアップロードし、SSL を有効にする必要があります。この手順については、『*Configuration and Maintenance Guide for Cisco Unified MeetingPlace Express Release 1.2*』を参照してください。



(注)

アップロードする SSL 証明書は PEM 形式である必要があります。SSL 証明書が DER 形式の場合は、PEM 形式に変換し、アップロードし直してください。証明書を DER から PEM に変換するには、次の CLI コマンドを使用します。

```
openssl -in <file1.crt> -inform DER -out <file2.crt>
```

file1.crt は DER ファイル名、*file2.crt* は PEM ファイル名です。

しかし、誤った証明書名または秘密鍵名を入力して SSL を有効にした場合は、Cisco Unified MeetingPlace Express アプリケーションにアクセスできず、ロックアウトされます。

アプリケーションにアクセスするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Web ブラウザを開き、<http://<localhostname>:8080> に移動します。**localhostname** は使用しているローカル ホスト名です。

Cisco Unified MeetingPlace Express アプリケーションが開きます。

ステップ 2 Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。

ステップ 3 ページの上部にある **[管理]** をクリックします。

ステップ 4 ページの左側で、次の手順を実行します。

a. **[Certificate Management]** をクリックします。

b. **[Disable SSL]** をクリックします。

ステップ 5 **[Disable SSL]** をクリックして、SSL を無効にします。

ステップ 6 **[Restart Now]** をクリックして、Cisco Unified MeetingPlace Express システムを再起動します。

再起動により、Web 会議の設定ファイルがアップデートされ、システムの再起動後は Cisco Unified MeetingPlace Express アプリケーションに正常にアクセスできるようになります。

Web ブラウザを開き、<http://<localhostname>> に移動します。**localhostname** は使用しているローカル ホスト名です。

ステップ 7 Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。

ステップ 8 ページの上部にある **[管理]** をクリックします。

ステップ 9 ページの左側で、次の手順を実行します。

- a. **[Certificate Management]** をクリックします。
- b. **[Enable SSL]** をクリックします。

ステップ 10 正しい証明書名または秘密鍵名を入力します。

ステップ 11 **[Upload Certificates]** をクリックします。

ステップ 12 ダイアログボックスが表示されます。ここでは、サーバが再起動されること、およびそのことを確認した場合にだけ処理が実行されることが記載されています。**[OK]** をクリックして証明書をアップロードし、設定をアップグレードして、サーバを再起動します。

それでも SSL が有効にならない場合は、システムに作成された秘密鍵が Certificate Signing Request (CSR; 証明書署名要求) の初期生成時に上書きされた可能性があります (新しい CSR を生成した場合に発生する場合があります)。このような場合の復旧手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。

ステップ 2 ページの上部にある **[管理]** をクリックします。

ステップ 3 ページの左側で、次の手順を実行します。

- a. **[Certificate Management]** をクリックします。
- b. **[Generate CSRs]** をクリックします。

ステップ 4 各フィールドに情報を入力します。

ステップ 5 **[Generate CSRs]** をクリックします。

新しい秘密鍵が生成され、`/usr/local/enrollment` ディレクトリに格納されます。

ステップ 6 新しい CSR を CA に送信し、その CSR で SSL 認証を再発行できるようにします。

ステップ 7 CA から SSL 認証を受信したら、**[Enable SSL]** ページに移動し、証明書をアップロードします。

LDAP ログオンの試行に失敗する場合のトラブルシューティング

特定の条件に当てはまる場合に、Cisco Unified MeetingPlace Express にログインするときに次のようなトラブルが発生する場合があります。

- 1人のユーザだけに問題があり、そのユーザが Cisco Unified CallManager の LDAP 統合を使用していて、Cisco Unified CallManager のユーザ ページにログインできない場合は、Cisco Unified CallManager でのそのユーザのパスワードをリセットします。それでもそのユーザがログインできない場合は、次に説明する手順を実行します。
- 1人のユーザだけに問題があり、そのユーザがサードパーティの LDAP 統合（Active Directory など）を使用していて、LDAP ドメインにログインできない場合は、サードパーティの LDAP 統合でそのユーザのパスワードをリセットします。それでもそのユーザがログインできない場合は、次に説明する手順を実行します。
- すべてのユーザに影響がある場合は、Cisco Unified MeetingPlace Express の Usage Configuration ページ（[管理] > [System Configuration] > [Usage Configuration]）で、LDAP の設定を確認します。次のことを確認します。
 - [LDAP URL] フィールドの値が正しく、空白がどこにもないかどうか。



ヒント

空白が確実になくなるようにするには、現在のエントリを削除して、もう一度 LDAP の値を入力します。

- ディレクトリの [username] と [Password] の各フィールドのエントリが正しいこと。各フィールドに設定可能な値については、『*Configuration and Maintenance Guide for Cisco Unified MeetingPlace Express Release 1.2*』を参照してください。

なんらかの変更を加えた場合は、Cisco Unified MeetingPlace Express サーバを再起動します。それでも問題が修正されない場合は、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 admin ユーザとして Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。



(注)

Cisco Unified MeetingPlace Express へのログインについては、『*Cisco Unified MeetingPlace Express インストラクションアップグレードガイド Release 1.2*』を参照してください。

ステップ 2 次の手順でシステムの情報を取り込みます。

- a. Cisco Unified MeetingPlace Express で、上部のメニューバーの [管理] をクリックします。
- b. 左側で、[Services]、[Logs]、[View System Information Capture] の順にクリックします。
- c. フォームに情報を入力します。[Approximate event time] フィールドには、LDAP メカニズムを使用してログインしようとしたおおよその時刻を入力します。
- d. [Log capture] ウィンドウ フィールドに 10 と入力します。
- e. [View Logs] をクリックします。
- f. ポップアップ メッセージで [OK] をクリックします。
- g. [Export to File] をクリックして、作成されたファイルを保存します。

ステップ 3 保存したファイルを Cisco TAC に送ります。

Cisco Unified CallManager を使用している場合は、次の点に注意してください。

- Cisco Unified CallManager Data Connection Directory にログインできるかどうかを確認しておきます。
たとえば、Cisco Unified CallManager で、**[Programs] > [DC Directory Administration]** を選択します。Cisco Unified MeetingPlace Express の Usage Configuration ページ（**[管理] > [System Configuration] > [Usage Configuration]**）の **[Password]** フィールドで指定したパスワードを使用して、ディレクトリ マネージャとしてログインします。
- 最初にユーザが Cisco Unified MeetingPlace Express にログインしたときに、エンドユーザ インターフェイスを使用できることを確認しておきます。



(注) ユーザが最初にログインしたときに、Cisco Unified MeetingPlace Express でそのユーザのプロファイルが「即時に」作成されます。正常なログイン（およびメッセージ *Welcome [User]* の表示）は、ユーザのプロファイルが正常に作成されたことを意味します。ユーザが Telephone User Interface (TUI; 電話ユーザ インターフェイス) を使用して最初のログインを試行すると、プロファイルは作成されません。

- ユーザ プロファイルが Cisco Unified CallManager でロックされていないことを確認しておきます（ユーザ プロファイルは、ログインを何度も試行して失敗すると、ロックされます）。
- Cisco Unified MeetingPlace Express のログが次の場所にあることを確認しておきます。
`/opt/cisco/meetingplace_express/tomcat/current/logs/bounty.out`

■ LDAP ログオンの試行に失敗する場合のトラブルシューティング